

年 組 名前：

内外ビル（韮崎市田野町上
田井、内藤篤社長）が運営す
る「城のホテル 甲府」（甲
府市丸の内1丁目）は、ワイ
ンの醸造過程で発生したブド
ウの搾りかすなどを原料にし
たボトルとタンブラーを導入
した。紙コップに代わってレ
ストランやラウンジで使用
し、紙資源の削減を図る。

「城のホテル 甲府」によ
ると、ボトルとタンブラーは、
コンタクトレンズ・ケア用品
開発の「メニコン」（愛知）



環境配慮のボトル導入
城のホテル甲府 タンブラーも
紙コップ減へ

と、飲料容器製造などの「ア
サヒユウアス」（東京）が共
同開発。メニコンの工場で発
生した未利用のプラスチック
素材に、産業廃棄物として処
理されるブドウの搾りかすを
県内のワイナリーから集めて
製造した。

同ホテルは環境に配慮した
取り組みに賛同し、タンブラ
ーとボトルの導入を決めた。
担当者は「これまで使って
いた」紙コップの発注は高頻
度だったので、相当数の資源
の節約が見込めるのではない
か」としている。

ホテルオリジナルデザイン
のタンブラーとボトルを、ホ
テルの販売コーナーなどで数
量限定で販売する。ホテルは
「SDGs（持続可能な開発
目標）の推進と、県産ワイン
に関心を持つきっかけになれ
ばうれしい」としている。
〈山本就己〉

(2024年3月20日付 山梨日日新聞7面)

問1

「城のホテル 甲府」は、なにを原料としたボトルとタンブラーを導入しましたか。

.....

問2

ボトルとタンブラーは、どのように使用されていますか。

.....

問3

ホテルが、このボトルとタンブラーを導入した理由を教えてください。

.....